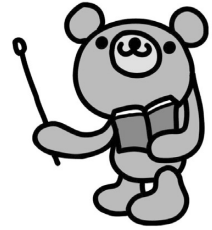


3 担任への支援

担任に対して、相談に応じたり、助言したりする等の支援を行います。



☆ポイント

- ・担任の相談から状況を整理する
- ・担任とともに児童生徒理解と支援体制



Q 1 1 担任からの相談の際、どのように情報を整理したらよいですか。

- A. 担任の話にしっかり耳を傾けるとともに、児童生徒を自分自身で観察し、話の内容や状況から児童生徒の情報を偏りなく多角的に整理することが大切です。担任と一緒に整理をするうちに、担任が自分の悩みを解決していく糸口が見つかる場合があります。このような場面で、巻末の④支援シートを用いると整理しやすいです。



Q 1 2 児童生徒の実態把握を行うために、どのような方法がありますか。

- A. 実態把握は、児童生徒の作品、ノート、行動観察、学力検査等を参考にして様々な角度からみていきます。また、特性をみるためのチェックリストや問題行動を把握するための巻末の⑤状況把握シートを活用することもできます。(特性をみるためのチェックリストは、教育センター<http://www.kochinet.ed.jp/center/>のHPをご覧ください。)



Q 13 担任への支援はどのように行い、配慮すべき点はどのようなことですか。

- A. 状況判断をし、担任ができることを見極めながら助言を行います。そのためには、個のニーズに応じた支援や、一人一人が大切にされる学級づくりができているかを把握していく必要があります。巻末の⑥一人一人に応じた支援を可能にする学級づくりのチェックシートを活用してください。

同時に、担任の児童生徒への理解を深めるために、総合的な理解を進めたり、今後の対応への見通しを説明したりすることが大切です。

このような支援を行いながら、校内における組織的な支援体制や、担任への支援体制の模索を行います。